



なるとうこども園の園庭の様子

**A** 保健福祉部長 民間保育園経営者とは、国が示している範囲内で

話をしている状況です。財産処分などの財政的な問題など、具体的に取り組めるよう準備しており、スムーズな実現に努めたいと考えています。

**Q** なるとうこども園は、園庭に日陰がなく、テントを張っている。園庭に植樹を考えるべきではないか。ドングリや椎の実が落ち、昆虫などが寄ってきて、園児が自然環境の中で過ごし、少しの雨なら雨宿りしたり、木登りしたり、木陰で遊

ぶこともできる、そんな自然環境を整えるべきだと考えるがどうか。

**A** 保健福祉部長 確かに日陰がないことは事実です。こども園とも相談し、植樹を計画していきたいと考えています。

個人質問



眞 議員

●さんむ医療センターの第2期中期計画について

**Q** 第2期中期計画（3年）は第3期中期計画（3年）と一連の計画であり、財政基盤を強化し、医療・保健・介護の三位一体経営を目指し、必要な施設の整備・移転を検討するという内容である。老健施設等の施設整備や病院の移転など、市長は、いつ頃具体的な見通しを立てようとしているのか。

**A** 市長 独立行政法人が新しく投資をする場合、市が半分を負担しなければなりません。市がどこまで投資できるかの見通しをたてなければならぬので、第1期の成果を見ながら、今年度中にある程度の考え方をまとめていかなければならないと考えています。

**Q** さんむ医療センターの理事長は、病院はまちづくりの柱になると言っている。まちづくりに病院がどう関わっていくのかという点で、理事長と市長で見解の相違があるのではないか。

**A** 市長 市も、医療をまちづくりの大きな1つの柱として考えています。目指す方向において、理事長の考え方を否定していません。その形態は変わるかもしれませんが、病院、老健施設、更には特別養護老人ホームあるいはグループホームも含めた施設を一緒に造っていくことが可能かどうかとなると、理事長が描いていることと、現実的に、どこから手をつけて、どのようなスピードでやっていけばいいのかということを考えなければならぬ私どもの立場では、多少のずれは出てくるかもしれません。しかし、将来的な方向で、理事長が考えておられる地域医療を三位一体の形でやっていこうというこ

**Q** 病棟の経営状況の評価について、市長の見方と病院側の評価にずれはないか。

**A** 市長 結果の数字をどう見るかということについての評価のずれはありません。ただ、国保成東病院時代から経営的な体質が非常に改善されたことよって今の赤字が生まれたかどうかについては、もう少し経営改



新たに設置された緩和ケア病棟の様子（さんむ医療センター）

善の余地があると思いません。病院が前に進むためには、もう少し利益を上げられる病院になることが必要だと考えています。

**Q** 第2期中期計画の最終年度・平成28年度末で、内部留保が23億円になる見込みだが、その時に病院建設のゴーサインを出すのか。それとも、数字だけでは判断はできないか。

**A** 市長 数字的に内部留保が20億円を超えるということ、1つの条件になると思います。同時に、今、さんむ医療センターで改善しなければならぬ最大の弱点は、やはり内科です。内科の体制をしっかりと整えるということも大変重要なポイントになると思えます。

**Q** 病院用地の確保について、市民の同意を得つつ、少なくとも場所の選定等の、具体的な作業に着手してはどうか。病院の建設計画がはつきりする以前に、例えば、市が病院用地を先行取得

する。

する。